

# 日本保育士協会ニュース

Nippon Childcare professional Association



平成31年2月発行

No. 29



## 会員募集中：入会資格・会費・会員期間

### —低廉で安心の賠償責任保険付—

この保険は保育士さんが保育業務に起因した事故により、保育士個人に損害賠償請求された場合に補償される保険制度です。

入会資格	保育士資格所有者…原則として、社会福祉法人が運営する保育所等に勤務されている方（平成29年度より）
年会費	2,000円 (保育士賠償責任保険の保険料を含む)
会員期間	毎年4月1日から1年間 (翌年3月31日まで)
入会手続締切日	毎月20日まで
入会開始日	手続きした月の、翌月1日

補償限度額	
補償内容	補償限度額(保険金額)
<b>賠償責任</b> (人格権侵害を含みます。)	<b>1事故 1億円</b> 自己負担額 1,000円
<b>事故対応特別費用</b> <b>被害者対応費用</b> (お見舞金)	<b>期間中 500万円</b> 〔お見舞金は… 死亡時 50万円 死亡以外 3万円〕

# 平成30年度（第2回）日本保育士協会研修会 （共催 NHK文化センター）

講義1 『ニュースウオッチ9』 斉田さんの天気予報がわかるコツ

日時：平成30年11月17日（土）13：35～15：05

会場：千代田放送会館（東京都） 講師：斉田 季実治（NHK気象キャスター）

NHKでおなじみの気象キャスターの斉田さん。

今回の参加者の中にも斉田さんのファンという方が多く見られました。そんな斉田さんが「天気予報のコツ」をテーマにお話をしてくださいました。

そもそも私たち保育士にとって「天気」とは、切っても切れないものです。屋外での行事はもちろん、日々の散歩や戸外遊び、どんな活動を行うにしても保育士の皆さんなら毎日天気予報をチェックしているはずです。



そんな天気予報について、晴れと曇りの境とは？とお題を出されました。答えは雲量で決まり、0～1が快晴、2～8が晴れ、9～10になってはじめて「曇り」になるそうです。他にも、週間天気予報が80%の確立で当たるのは3日目までといった興味の湧く内容で、普段、天気予報を見ているだけでは知ることの出来ない情報をたくさん教えてもらい、どれも、今後の天気予報の見方が変わるお話でした。

天気予報とは、「晴れる」「雨が降る」といったことだけではありません。自然災害についても、天気予報から情報を集めることができます。

斉田さんの印象的なことばの1つに、「自分だけは災害で死なないと思っていませんか？」という問いかけがありました。「正しい情報が生死を分けます」という言葉は、私たち保育士に命の重さを改めて考えさせるきっかけをくれました。今の段階が注意報なのか、警報なのか、それとも特別警報なのか、リアルタイムに情報を得ることが重要であり、そのためには、習慣として天気予報を見ることが重要だと斉田さんは強く話しておられました。そして、気軽にネット検索が出来る時代になり、視覚的に分かりやすい情報が増加したので、アメダスや衛星ひまわりなどの画像を見て情報を得ることも1つだと教えて下さいました。

台風、洪水、そして竜巻など、自然災害は1つひとつ対策や避難方法が異なります。私たちは、自分が住んでいる地域や保育園の場所がどんな地形で、どんな危険が考えられるのかをしっかりと把握し、“自分の身に起きてしまったら”という気持ちで日々保育をしたり、避難訓練を実施したりしていかなければいけません。斉田さんのお話には、いつも同じ避難訓練をするのではなく、職員間でこんな場合はどうする？と色々な角度からケースを想定し、一人ひとりが“何とかしよう”という気持ちを持って取り組んでいこうというメッセージがありました。

天気予報は私たちにとって、とても身近なものです。そして命を守るための大事な情報源です。

日本ならではの四季を感じる天気や気候に魅力を感じながらも、今後いつ起こるか分からない自然災害について学習し、共に生きていかなければならないと思う貴重な講演でした。

## 講義2 ことばの不思議！ ことばおじさんの納得日本語塾

15:20～16:50 講師：梅津 正樹（元NHKエグゼクティブアナウンサー）

「秋も深まる」不思議だと思いませんか？夏も深まるとか冬も深まるとか春も深まる、みな言いませんね。秋だけ深まるというのですね。考えたことはないけど使います。また、真夏や真冬は使うけど、真秋は言いません。なぜ？と言われても答えにくい。でも、我々はそう使うし、聞いている人も分かる……言葉ってそういうものです。こういったことはどこにも出ていない、学校でも教えない、何気ない言葉の使い方は、実はとても大事だと思います。それは、聞いた人間がどう受け止めるかが大事だと思うからです。



結論を先に言います。「日本に正しい言葉」というのはありません。無いから困るのです。言葉というのは、日々の暮らしから必然的に生まれたものだと思っています。だから、この狭い日本列島の中でも方言がたくさんある。どの言葉が正しいとかは無いのです。価値観・環境・生活習慣が違って来れば必然的に言葉も変わってくるのです。

日本語はとてもあいまいなところがあります。それは日本語の特徴が察し合う文化だからだと思います。はっきりものを言うのは失礼である。という思いが私たちの中にはあるようです。例えば、「お出かけですか？」「ええ、ちょっと」「あら、お気をつけて。」これで会話が成り立ってしまいます。わざと遠まわし、はっきり言わない、でも通じ合う。これを婉曲表現と言います。婉曲表現（遠まわし）は、つまり自分の価値観でこうなんだと解釈すること。

例えば、「エレベーターは10階まで止まりません。」10階は止まるの？止まらないの？正しい答えはその人に聞かないとわからないのです。皆さん信号機の色を子どもから聞かれた時、何と答えますか？赤・黄色・青ですね。でも明らかに赤と黄色と緑ですよ。世界共通で決まっている。日本だけが緑を「青」と言っています。これらは全て感性なんです。

感性は言葉を覚える幼児期につきます。最初に獲得するのが子ども時に覚えた言葉、これを母語と言います。人は言葉で物を考える、それが感性に繋がるので、幼児期の言葉はとても大切なんです。同じ言葉でも人によって解釈が違うので、相手がどう感じるかを考えた上で言葉を発することが大切です。ただ心情を吐露するだけでは良いこととは言えず、お互いがやり取りして「相手がどう取るか」を考える修練が必要です。敬語については人間関係が第一です。人間関係が出来上がってれば、多少言葉が間違ってもトラブルは起きないのです。

普段私たちが何気なく使っている言葉やコミュニケーションの大切さを歴史やたとえを交えてのとてもわかりやすく楽しい研修でした。言葉と感性の大切さを再確認する、実践に繋がる貴重な内容でした。

# 平成30年度（第3回）日本保育士協会研修会 ～ 感染症の予防について ～

日時：平成31年1月19日（土）13：30～16：50

会場：千代田放送会館（東京都） 講師：白鷗大学 教育学部教授 岡田 晴恵

感染症の予防や対策とは、いったいどんなことなのか、元国立感染症研究所の研究員の経歴を持ち、その際の実体験を踏まえたお話や、医学博士としての豊富な知識に富んだお話は、とても分かりやすく、感染症の怖さをひしひしと感じるものでした。

今年も大流行しているインフルエンザについて、湿度を高めることと、換気をすることの重要性を説いていました。咳やくしゃみをする時、ウイルスを含んだ唾液がだいたい1mほど飛びます。乾燥していると空気に出されたウイルスが宙に浮くため、そこから蔓延してしまうということです。人がたくさんいるところでは、対角線上に窓を開けて換気すると良いとのことでした。加湿器の掃除を十分に行っていないと、カビや孢子が飛び、喘息になる恐れもあるため、定期的に掃除が出来ない場合は、濡れたタオルを干すことが、目に見えて加湿が出来る良い対策だとおっしゃっていました。

また、インフルエンザと同様に冬期に流行するノロウイルス感染症（感染性胃腸炎）のお話では、某ホテルのロビーで嘔吐してしまった方が印象的でした。従業員はすぐに嘔吐処理を施したそうですが、吐物がかかった毛並みの長い絨毯の処理が水洗いだけでは不十分だったため、その後、その絨毯に掃除機をかけたところ、排気にノロウイルスが入っており、集団感染をしたという事例でした。この事例からも分かるように、水はもちろん、石鹸やアルコールには効き目はなく、しっかりと塩素系漂白剤や二酸化塩素の液剤を使用して掃除をしていかなければいけません。さらに、1m20cmの高さから嘔吐した場合、2m先までウイルスが飛ぶということを認識して処理をしていくことが感染を防ぐことにつながっていきます。

ノロウイルス感染症は、嘔吐物だけでなく下痢の症状もあります。下痢便をトイレで流すと、水流によって、ウイルスは30cm飛び上がって90分間も浮いているそうです。そのため、フタがあるトイレではフタを閉めて流すこと、ウォシュレットを使用するとウイルスが飛び散るため、下痢の際には使用しないことが感染を広げないための重要な対策であると教えていただきました。

保育園は子どもを第一に考える場所ではありますが、働く職員や保護者の方の健康も重要です。麻疹・風疹などの生ワクチンでなければ妊婦さんもワクチン接種が可能なことや、妊娠している方が感染すると5倍もリスクがあることなどを職員みんなが理解し、妊娠している職員の環境を変えたり、保護者に連絡事項として知らせたりする必要性をもっと感じなければいけないということです。こういったことも大事な保護者支援の1つであり、今後保育士に求められていく資質だと思いました。

後半の講義では、先生が制作された「感染症カルタ」を数人のグループに分かれて実践しました。インフルエンザやノロウイルスの他にも、ペスト、エボラ出血熱までいろいろな感染症が入っており、“名前は聞いたことがあるけど、それってどんな病気？どうやってうつるの？”とっていた感染症のメカニズムから、大流行して歴史や文化に与えた影響を遊ぶうちに自然と覚えることが出来るカルタです。このカルタの面白いところは、読札・絵札、それぞれ両面を使って遊ぶことが出来ることです。遊び方によって習熟度が異なり、子どもから大人までが楽しみながら学ぶことが出来る作りになっています。絵札にはちょっとリアルな絵が描いてあり、中には怖いと思う絵もありますが、説明を聞いて理解すると、その絵が意味するものを感じ取ることが出来ます。私たちは、あらゆる感染症を把握し、小さなことから出来る予防をしたり対策を取っていかねばいけないと思いました。



\* 岡田晴恵先生の「感染症カルタ—うつる病気の秘密—」にご興味を持たれた方は、当法人の事務局までお問合せください。

# 保育園訪問

## ～なごみこども園（浜松市）～ 親交を深め繋げる合流点 CIRCUS



サーカスとは通りの合流点における円形広場という意味ですが、この施設は社会福祉法人経営の施設ではありますが小規模保育施設、子育て支援施設、そしてカフェと3つの機能を併せ持つ施設です。日々、地域の様々な人々が訪れ、賑わいを見せています。

保育園やこども園は地域に根ざし、地域に開かれた施設であり、利用している人にとっては便利で大切な場所となっているが、そうでない人によっては少し敷居の高い場所、という側面もあるため、利用者以外にも開かれた

施設にするためにどうすればいいのか？ということでカフェを併設したサーカスが生まれるきっかけになったと言います。「豊かな子育てを、ともに」というスローガンを道しるべとして、サーカスには様々な人々が今日も行き交っています。

併設されたカフェ、『Nカフェ』は、隣接しているなごみこども園に勤務している栄養士さんたちがメニューを考案し、提供しています。栄養士さんたちが考案しただけあって、とてもヘルシーで栄養バランスも考慮されており、他の飲食店と引けを取らないくらい料理も素晴らしいものでした。平日ながらも、家族連れや母親たちが次々に来店し、開店早々に満席になるほどの賑わいを見せておりました。店内の雰囲気も採光を多めに取り、明るい雰囲気や子どもたちの賑やかな喧騒を聞きながらリラックスできる空間となっていました。





# 保育士になって…

～今、どんなことを思っていますか？～

## ☆ どうして保育士になりましたか？

- ・子どもが好きだから ・担任の先生への憧れ
- ・子どもの頃からの夢 ・小さいころから年下の子と遊ぶのが好きだった
- ・子どもたちに関わる職に就きたかった ・職場体験を通して
- ・保育士である母や家族の姿を見て ・音楽や歌や踊りが好きだった
- …小学生の時に保育士さんに「保育士になったら？」と言われたからという答えもありました



1年目保育士さん

## ☆ どんな時に仕事のやりがいを感じますか？

- ・子どもたちの成長を感じる時 ・子どもたちの楽しそうな笑顔を見た時 ・褒められた時
- ・保護者から感謝の言葉をかけられた時 ・子どもたちと頑張って行事や目標を達成できた時
- ・子どもたちが保育園で遊びたい、楽しいと言ってくれた時 ・卒園児が声をかけてくれた時
- …一日の保育が無事に終わり、保護者に笑顔で渡すことができた時と言う答えも本当にホッと安心する瞬間ですね

## ☆ どんな保育士をめざしていますか？

- ・子どもや保護者の気持ちに寄り添える保育士 ・明るく元気な保育士
- ・子ども、保護者、同僚からも頼りになり信頼される保育士
- ・子どもの個性を大切にできる保育士 ・子どもが安心して過ごせる保育士
- ・共に成長できる保育士
- …他人に幸せを与えられる保育士・何でも出来る保育士という答えもありました



2年目保育士さん

## ☆ どんな研修会を受けたいですか？

- ・実技研修（運動・リズム遊び・リトミック・絵本の読み聞かせ
- ・製作・絵画・室内遊びなどなど）ロケットくれよん
- ・ケロポンズなどの研修 ・気になる子の対処法
- ・すぐに保育に活かせる内容 ・保護者対応・支援について
- ・子どもの行動と心理・発達について ・保育指針、制度について
- …男性保育士に向けての研修、男性保育士という話が見たいという答えもありました

## ☆ ストレス発散法は？

- ・睡眠 ・美味しいものを食べる ・友だちに会い食事・話をする
- ・ショッピング ・カラオケ・スポーツ ・旅行 ・ライブに行く
- ・飲酒 ・家族と過ごす ・映画鑑賞 ・ドライブ
- …ゲーセンにつき込む・夜のおやつタイム・旦那に愚痴ると言う答えもありました
- ストレス発散法は人それぞれですね



5年目保育士さん

### ☆旅行に行くならどこに行きたいですか？

\*海外では？

- ・ハワイ ・ヨーロッパ ・オーストラリア ・韓国 ・アメリカ
- …海外は行きたくないという答えもちらほらありました

\*国内では？

- ・沖縄 ・北海道 ・京都 ・大阪 ・九州
- ・東北 ・ディズニーランド ・屋久島
- …美味めぐり・御朱印めぐりという答えも 御朱印めぐりは今時ですね



10年目保育士さん

### ☆宝くじが当たったら何に使いますか？

\*一億円が当たったら？

- ・家を建てる ・旅行 ・貯金 ・ローン返済 ・車の購入
- ・家族・親戚で分ける ・仕事を辞める ・買い物 ・豪遊
- …芸能人に会いに行く・海外ディズニーランド制覇
- ・寄付（半分、日本保育士協会に寄付します！）など、夢が広がりますね



20年目保育士さん

\*一千万円が当たったら？

- ・旅行 ・貯金 ・車の購入 ・ローン返済 ・リフォーム ・豪遊 ・買い物 ・学費
- …職場に玩具をたくさんプレゼントする・自分の働いている園のために使うとという答えも…いつも保育園や子どもたちを思う気持ち素敵です

### ☆お休みの日は何をして過ごしますか？

- ・買い物 ・家事 ・友人や家族と過ごす ・子どもと遊ぶ
- ・家族とでかける ・TV、DVD 視聴 ・子どもの習い事や行事 ・睡眠
- …昼からビール・お風呂屋さんへ行く・演劇鑑賞・なかには、持ち帰りの仕事という答えもありました



30年目保育士さん

経験年数1年目～50年目 168名(女性165人・男性3人)の保育士さんにアンケートをいただきました。

子どもたちと過ごす毎日は、楽しい、嬉しい、そしてやりがいを感じることもいっぱい。

かわいい！大好き！大切！子どもたちへの愛情は経験年数が違ってみんな一緒。保育士さんって素敵です♡

食べて、飲んで、寝て、喋って、歌って…ストレス発散！心と体の栄養をしっかり蓄えて、かわいい子どもたちと一緒に 頑張れ！保育士さん！！

# 集まれ～！保育園！！

## ～ちびっこハウス かすが（広島県福山市）～



『ちびっこハウス かすが』は、広島県福山市の東部に位置しすぐ近くに同じ社会福祉法人の春日こども園があります。平成 29 年 4 月に開園した定員 12 名の小規模保育園で、現在 2 才児… 5 名、1 才児… 4 名、0 才児… 3 名の子どもたちが元気いっぱい通って来てくれています。

☆子どもひとりひとりをたいせつにする保育

☆保護者に信頼される保育園

☆地域に愛される保育園を理念に、家庭的な雰囲気の中で子どもたちや保護者

にあたたく寄り添い、豊かな人間性を持った子どもを育成していく保育を目指しています。

少人数の縦割り保育、大きい子は自然と小さい子の面倒を見るようになります。

小さい子は毎日の生活の中で大きい子の真似をしながらいろいろなことを学んでいます。まるで兄弟のようにみんな仲良く、時にけんかをしながら、日々成長しています。

3才児になると春日こども園に進級していきますが、スムーズに進級できるよう、こども園の園庭で一緒に遊んだり、夏祭りや交通安全指導、生活発表会等の行事に参加したりしてこども園の子どもたちや保育士との交流も図っています。



### 大募集！

あなたの園の『自慢話・自慢作品・自慢給食（おやつ）…』などなど、何でも募集中！

日本保育士協会まで、郵送・FAX・メールでお送りください。

※ご応募頂いた方には粗品をお送りします。



一般社団法人  
**日本保育士協会**

〒102-0083 東京都中央区日本橋横山町3-8  
U・Mビル3F

TEL 03-6825-8803 FAX 03-6825-8802

ホームページアドレス <http://www.hoikushi-kyo.jp/>

Eメールアドレス [hoikushi-kyo@hbvw.ftbb.net](mailto:hoikushi-kyo@hbvw.ftbb.net)